

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-141	小学校	算数	算数	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 618	小学算数6		

1 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



社会が急速に変化し、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、主体的に学び、社会と関わり、他者と協力しながら、自ら未来を創り出していく力を育成することが求められます。

生涯にわたってつづく学びの原点となる小学校教育では、自ら考えて「わかった・できた」を実感する喜びや、友だちと一緒に問題を解決する充実感、学びと学びがつながり深まったときの感動を味わわせ、次の学びへと向かっていく力にしていきたいと考えます。

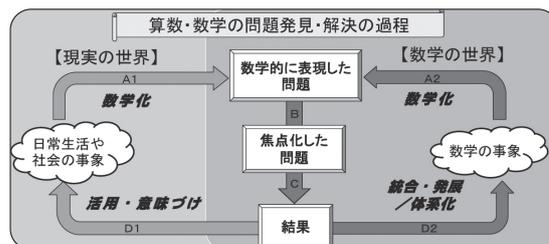
本書では、教育基本法が示す教育の目標の実現に向けて、次の基本方針のもとに編修にあたりました。

問いつづけ、よりよいものを求めて 改善しつづける子どもを育てる



▲「はてな? →なるほど! →だったら!」で進める学びの過程

“問い”の連続でつくる
主体的・対話的で深い学び



▲算数・数学の問題発見・解決の過程 (文部科学省)

特色

1

学びに向かう力、人間性等の涵養

問題発見力・解決力・追究力を育てる教科書

特色

2

思考力・判断力・表現力の育成

見方・考え方を働かせて学び合う教科書

特色

3

生きて働く知識・技能の習得

学びをつないで確かな学力を育てる教科書

1 問いをもち、学び合うから、考えが深まる！

子どもの「^{はてな}?」からめあてをつくり、主体的・対話的な学びをとおして“^{はるほし}!!”を深め、^{はるほし}!を見だし、さらに、新たな“^{はてな}!!”へとつなげる構成にしました。未来を創り出していくのは、“^{はるほし}問いをもつ力”です。

1 画用紙がたくさんあります。これを1枚ずつ数えずに、全部で何枚あるかを調べる方法を考えましょう。

全部の枚数を、簡単に調べることはできないかな。

①の④からで、数にもよって変わる量は...

②画用紙をつむぎ新しく考えることは何かな。

はてな? 画用紙の全部の枚数を、ほかの量との関係を使って求められないかな。

比例

仮定と重さとは比例します。だから、全部の枚数は10枚を10倍すると求められます。

枚数(枚) 10 20 30 ... 2
重さ(g) 94 188 282 ... 244

2倍 3倍

あおいさんの考えで、にあたる数はどのように求めればいいのか。

さとし

あおいの考えで、にあたる数はどのように求めればいいのか。

さとし

4 学習をふり返りましょう。

どんな考え方がよかったかな。

比例の関係に着目して表や式に表すと簡単に考えられる場合があるんだね。

はるほし!! 重さ以外の量を使って、枚数を調べることはできるのかな。

あおい

▲p.123 ~ 125

はてな? から ^{はるほし}! へ “^{はるほし}問い”の変容が見えるノート指導

①画用紙の全部の枚数を、ほかの量との関係を使って求められないかな。

②比例の関係に着目して表や式に表すと、簡単に考えられる場合があるんだね。

▲p.126 ~ 127

単元1~3は 学び方のモデル単元

学習指導要領との対照表 p.2

単元 1 問題発見力モデル
単元 2 問題解決力モデル
単元 3 問題追究力モデル

2 伝え合い、学び合う学級をつくる！

授業開きの特設教材を楽しく解決しながら、学習の進め方を学級で共有できるようにしました。学びに向かう力は、わからないことを伝え合える学級文化から育ちます。

不思議なパスカルの三角形

下のようにならぬを調べると、おもしろい三角形(パスカルの三角形)といえます。

1 パスカルの三角形をつくりましょう。

パスカルは17世紀、フランスの数学者で、この三角形を研究して、その性質を明らかにしました。

パスカルの三角形は、1の列と1の列を足して、その結果を下の数字に記入して、また1の列と1の列を足して、その結果を下の数字に記入して、これを繰り返して、下の数字を求めます。

パスカルの三角形は、1の列と1の列を足して、その結果を下の数字に記入して、また1の列と1の列を足して、その結果を下の数字に記入して、これを繰り返して、下の数字を求めます。

パスカルの三角形は、1の列と1の列を足して、その結果を下の数字に記入して、また1の列と1の列を足して、その結果を下の数字に記入して、これを繰り返して、下の数字を求めます。

算数が好きになる はじめの一歩!

▲p.7 ~ 9

3 単元のまとまりで、学びを深める！

単元導入では身近な題材から算数の問題を発見し、単元末では活用問題をとおして「何ができるようになったか」を実感できるようにしました。単元のまとまりで、目的意識をもって主体的に学びを進めていくことができます。

6 読書チャンピオンを決めよう!

身近な場面から 問題発見!

学んだことを 日常生活に活用!

データを見せせて、代表を決めよう!

1 データを見つけて

学年対抗の8の字とびの大会が開催されるために、1組と2組のどちらの組を学年代表にするかを決めよう。

2 結果を伝える

8の字とびの学年代表を1組と2組のどちらにするかを決めるには、どんなデータをどのように集めるかを決めよう。

3 それぞれ10回の記録をとって、比べてみよう。

学年対抗の大会では、どんなデータを集めようかを決めよう。

▲p.88

▲p.101

1 見方・考え方がつなぐと、算数が得意になる！

単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を「つなぐミカタ」で顕在化し、後半の学習で自ら活用していく構成にしました。見方・考え方の働きを実感し、学びが深まります。

ミカタに気づく

25ページ
 $\frac{2}{5} \times 4$ が $\frac{2 \times 4}{5}$ で求められることを説明しましょう。

1 ケーキを1個作るのに $\frac{2}{5}$ Lの牛乳を使います。このケーキを4個作るには、何Lの牛乳が必要でしょうか。

$\frac{2}{5} \times 4 = \frac{2 \times 4}{5}$ が()が()個分

$\frac{2}{5} \times 4 = \frac{\square \times \square}{5}$

振るほふ
分子が1の分数をもとにして、整数のかけ算を使って考えられるね。

振り返る

つなぐミカタ

分数×整数の計算は、整数のかけ算を使って考えたね。

$\frac{2}{7} \times 3 \rightarrow \frac{1}{7}$ が(2×3)個分

$\frac{2}{5} \times 4 \rightarrow \frac{1}{5}$ が(2×4)個分

分子が1の分数をもとにして、その何個分という見方が大切だったね。

分数÷整数の計算も、かけ算と同じように考えてできるかな。

▲p.31

また使う

はらこ
2人分の重さ

また使う

振るほふ
分子が1の分数をもとにして、整数のわり算を使って考えられるね。

学習指導要領との対照表 p.2
“見方・考え方のつながり”

2 単元を中心となる見方・考え方を心に残す！

単元末の「4コマ漫画」で、学んだことのよさや見方・考え方を、楽しく振り返れるようにしました。領域を貫く見方・考え方が心に残るから、学年を超えて、次の問題解決に生かせるようになります。

どんな図形の見方を学習したかな。

▲p.52

分数のかけ算のしかたは、どのように考えたかな。

▲p.68

3 算数のよさを実感しながら、読解力・表現力を育てる！

単元末では、算数を見つけたり、算数を使って日常の問題を解決したりする活動「学んだことを使おう」を設けました。学年末では、全国学力・学習状況調査をふまえ、学習したことを総合的に活用する問題「算数を使って考えよう」を設けました。算数の学習と日常の場面をつなげて、「わかる・できる」から「使える」学力に高めます。

単元末の活用問題

待ち時間はどれくらい？

写真から身長を求めよう！

入学式

卒業式

▲p.142

▲p.166

学年末の活用問題

算数を使って考えよう

学年末の活用問題

▲p.206、208

1 毎時のまとめが動くから、イメージでわかる！

「まとめアニメーション」で、知識・技能のまとめを視覚的に表現しました。デジタルで、毎日の授業のまとめ方が変わります。

文字だけよりも断然わかる！

① われる数とわる数に同じ数をかけても商は変わらない。
② わる数に逆数をかけて1にする。
③ 1でわっても大きさは変わらない。

分数を分数でわる計算では、わる数の逆数をかけます。

▲p.75からリンク

学習指導要領との対照表 p.1

デジタルコンテンツ「まなびリンク」

2 学年を超えた学び直しが、確かな学力を育てる！

巻末「学びのマップ」で、学年を超えて既習事項を振り返れるようにしました。わからない箇所があるときや、関連する内容を振り返りたいときにいつでも参照できるから、基礎・基本が定着します。

5年までの学習してきたこと

6年までの学習

1 整数を使った式
2 分数と整数のかけ算、わり算
3 対称な図形
4 分数のかけ算
5 分数のわり算
6 データの見方
7 円の面積
8 比例と反比例
9 角柱と円柱の体積
10 比

4年 四捨五入

5年 偶数、奇数

既習事項とのつながりがひとめでわかる！

前学年までの内容も「まとめアニメ」で確認できる！

▲p.276～277

▲4年 四捨五入

▲5年 偶数、奇数

3 つまづきのポイントを丁寧に支援するから、学力が伸びる！

各種学力調査でつまづきがみられる問題に対して「考えるヒント」を掲載しました。単元ごとに、典型的なまちがいが起こりやすい問題をクローズアップするので、より丁寧な支援ができます。

3 下の⑥から②の式の文字aは、0でない同じ数を表しています。答えがaより小さくなる式はどれでしょうか。また、答えがaより大きくなる式はどれでしょうか。

⑥ a×1.5 ⑦ a×0.5 ⑧ a÷1.5 ⑨ a÷0.5

3 考えるヒント 具体的に数をあてはめて考えよう

下の⑥から②の式の答えは、10より大きくなるでしょうか、小さくなるでしょうか。

⑥ 10×1.5 ⑦ 10×0.5 ⑧ 10÷1.5 ⑨ 10÷0.5

▲p.21

1 ⑥、⑨の長さは、それぞれ円のどの部分の長さと同じになるでしょうか。

支援のポイントがわかりやすい！

1 考えるヒント 具体的に考えよう

①の⑥の長さについて、下の図の色がついた線に着目して考えましょう。

▲p.119

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 文字を使った式	問題を発見し、生活経験や既習の学習をもとに解決しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.11～13
2 分数と整数のかけ算、わり算	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.26～29
3 対称な図形	学習した見方・考え方をもとに新たな問題を発見し、追究しようとする活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.42～43
4 分数のかけ算	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.56～61
5 分数のわり算	友だちの考えを関連づけたり、自他の考えを比較してよりよい考えを見いだしたりする対話的な学びを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.70～75
6 データの見方	図書委員会の活動として読書チャンピオンを決める題材を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うようにしました。(第2号)	p.88
7 円の面積	円の面積について、正確な値が求められるように既習事項を活用して工夫する活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.107～114
8 比例と反比例	協働的に問題を解決したり、友だちのノートの書き方のいいところを見つけたりする活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。(第3号)	p.123～127
9 角柱と円柱の体積	自ら問いをもち、追究し、さらなる問いへとつなげていく姿をフキダシで示し、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.146～151
10 比	比を活用して入学した時の身長が求められることに気づき、学んだことのよさを感じ得ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.166
11 拡大図と縮図	縮図を活用して木の高さが求められることに気づき、学んだことのよさを感じ得ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.182～183
12 並べ方と組み合わせ	並び方と組み合わせの学習が、実生活のさまざまな場面に活用できることに気づき、学んだことのよさを感じ得ることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	p.202～203
★ 算数を使って考えよう	なかよし集会の準備にあたり、学級目標「信頼される6の1」を達成するという目的をもって取り組む題材を通して、豊かな情操と道徳心を培うようにしました。(第1号)	p.206～209
■ Let's Try	和算について紹介する話題を通して、伝統や文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました。(第5号)	p.241～242
巻頭・巻末	人工知能に関する話題を通して、「考える」ことの大切さに触れ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うようにしました。(第1号)	表3

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ESD・SDGsへの取り組み

- ・現代社会が抱える環境や貧困、人権や平和などのさまざまな問題について、子どもたち一人一人が自ら課題を発見し、思考し、持続可能な社会の形成に積極的に関わっていくことができるよう、専門家による校閲を受け、ESD・SDGsに取り組めるように工夫しました。

○人権教育・特別支援教育

- ・人権を尊重し、あらゆる差別をなくし、ジェンダーやLGBTQなどについても理解が深められるよう配慮しました。
- ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しました。
- ・紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-141	小学校	算数	算数	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 618	小学算数 6		

1 編修上特に意を用いた点や特色

1 デジタルコンテンツ「まなびリンク」で、「もっとわかる・できる・納得する」

全591か所
(6年生用
93か所)



まとめアニメーション

毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。

・対応する2つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。
・対称の中心から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。

▲p.48からリンク

282 ÷ 24 = 11.75

すべてのデータの合計を求めて、データの個数でわった平均の値を、平均値といいます。

▲p.90からリンク

2:3 = 4:6

2:3と4:6のように、2つの比が同じ割合を表しているとき、これらの比は等しいといいます。

▲p.159からリンク

作図や測定手順の動画・シミュレーション

自分のペースで繰り返し学べる作図・測定手順の動画や、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションも豊富に用意しました。

⑥コンパスを少しずつ立てながら、

▲p.273からリンク

左利き用も!

▲p.91からリンク

▲p.112からリンク

表計算ソフト教材

操作が簡単な独自開発の表計算ソフト教材により、情報活用能力を育成する授業を楽しく行えるようになりました。

▲p.270からリンク

東京オリンピック大会の日本のメダル獲得数

年	金	銀	銅	合計
北京2008	9	8	8	25
ロンドン2012	7	14	17	38
リオ2016	12	8	21	41
東京2020	27	14	17	58
合計	55	44	63	162

▲p.270からリンク

2

“見方・考え方のつながり”が見えるから、算数が得意になる

つながるミカタ

各単元の見方・考え方を顕在化し、次の問題解決にもう一度活用することで、**学びの深まりを実感**できるようにしました。

つながる **①②③**

1組と2組の読書記録簿へのデータを、代表値や散らばりの様子に着目して調べてきたね。

どこのデータの見方を使って、読書チャンピオンを判断すればいいかな。

5 1組と2組とで、どちらの組が読書チャンピオンにふさわしいでしょうか。

	1組	2組
いっしょに読んだ冊数(個人別)	冊	冊
いっしょに読んだ冊数(個人別)	冊	冊
読書の平均値	冊	冊
いっしょに読んだ冊数(中央値)	冊	冊
読書の最大値・最小値	冊以上 冊未満	冊以上 冊未満
15冊以上の人数	%	%
10冊以上の人数	%	%

どちらの組か

つながる **④⑤⑥**

すべての場合を調べるときは、1番めを決めてから、図に表して順序よく考えればよかったね。

ほかに場面でも、すべての場合を考える方法が使えるかな。

4 アローズ、ベアーズ、チャンピオンズ、ダンクスらのチームでバスケットボールの試合をします。どのチームも1回ずつ対戦するとき、試合は全部で何試合あつてしょうか。

アローズをA、ベアーズをB、チャンピオンズをC、ダンクスをDとして、それぞれが試合をする相手チームをすべて書きましょう。

Aの試合 A-B、A-C、A-D
Bの試合 B-A、B-C、B-D
Cの試合 C-A、C-B、C-D
Dの試合 D-A、D-B、D-C

つながる **⑦⑧⑨⑩**

算数のミカタを広げよう!

拡大図や縮小図と、合同な図形は、合同な図形を1倍の拡大図とみると、同じくみとめることができます。

⑦の1/2の縮小図
⑧ 1倍
⑨ 2倍に拡大する
⑩の2倍の拡大図

単元や領域を超えた見方も…。
前学年までの見方も…。

学びの手引き **算数で使いたい見方・考え方**

5年生までに使ってきた算数のミカタ

新しい計算のしかたを考えるときの見方

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$

分母をそろえて、もとにする分数のいくつ分とみて、
 $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} \rightarrow \frac{1}{6} \text{が}(3+2) \text{個}$

単元のまとまりで、「ミカタに気づく⇒振り返る⇒また使う」

▲p.95

▲p.184

◀p.199

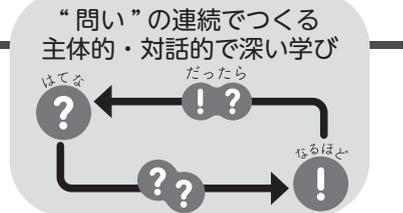
▲p.4

3

自ら未来を創り出していくための“問題発見力・解決力・追究力”を育てる

「学び方」を学ぶ3つのモデル単元

学年始めの単元1～3では、**問題発見力・問題解決力・問題追究力**の3つの力に焦点をあてて、算数の学び方を身につけられるようにしました。



問題発見力モデル

1 誕生日を あてはめて計算する…?

みんなが「年々減る計算」に挑戦してみよう。

① 誕生日を100と仮定して計算しよう。
② 誕生日を100と仮定して計算しよう。
③ 誕生日を100と仮定して計算しよう。

自分の誕生日をあてはめて、自分の計算結果と比べてみよう。

自分の誕生日を100と仮定して計算した結果と、自分の誕生日を100と仮定して計算した結果を比べてみよう。

▲p.11～13

算数の問題への気づきを重視

12月16日のとき

①の計算は $12+5$
②の計算は $(12+5) \times 100$
③の計算は $(12+5) \times 100 + 16$
④の計算は $(12+5) \times 100 + 16 - 500$

あなたさんは12月16日の場合の計算をどのように考えて、1つめを求めましたか。同じようにして、7月23日と10月7日の場合の計算を1つめめにしましょう。

12月16日のとき $(12+5) \times 100 + 16 - 500 =$

7月23日のとき

10月7日のとき

あなたさんの考えと、その結果を記入しよう。

12月16日の場合の計算を1つめめにしましょう。

命題対称な図形と点対称な図形の関係を調べよう。

① 命題対称な図形と点対称な図形をそれぞれ2つずつ対称させて、それぞれ2つの図形に比べてみよう。

② 命題対称な図形と点対称な図形をそれぞれ2つずつ対称させて、それぞれ2つの図形に比べてみよう。

③ 命題対称な図形と点対称な図形をそれぞれ2つずつ対称させて、それぞれ2つの図形に比べてみよう。

問題追究力モデル

命題対称な図形と点対称な図形の関係を調べよう。

① 命題対称な図形と点対称な図形をそれぞれ2つずつ対称させて、それぞれ2つの図形に比べてみよう。

② 命題対称な図形と点対称な図形をそれぞれ2つずつ対称させて、それぞれ2つの図形に比べてみよう。

③ 命題対称な図形と点対称な図形をそれぞれ2つずつ対称させて、それぞれ2つの図形に比べてみよう。

▲p.42～43

問題解決力モデル

2 分数と整数のかけ算、わり算

分数に整数をかける計算

① $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

② $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

③ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

④ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑤ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑥ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑦ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑧ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑨ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑩ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑪ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑫ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑬ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑭ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑮ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑯ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑰ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑱ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑲ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

⑳ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉑ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉒ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉓ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉔ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉕ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉖ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉗ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉘ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉙ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉚ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉛ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉜ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉝ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉞ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㉟ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊱ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊲ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊳ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊴ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊵ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊶ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊷ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊸ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊹ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊺ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊻ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊼ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊽ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊾ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

㊿ $\frac{2}{3} \times 3 = 2$

問いの深まりと振り返りを重視

見方・考え方の統合と発展的な問いを重視

◀p.26～27

検討の観点と内容の特色



観 点	内容の特色	該当箇所
教育基本法、学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 教育基本法が掲げる教育の目的及び目標をふまえ、「問いつづけ、よりよいものを求めて改善しつづける子ども」の育成を旨として編修しました。 ▶ 学習指導要領に則り、その目標がよりよく実現されるように創意・工夫をしました。 	<p>全般</p> <p>全般</p>
主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの問いの連続【はてな？→なるほど！→だったら!?】によって数学的活動を進められるようにしました。 ▶ 単元導入の【きっかけ】では、学ぶ意義を感じ、目的意識をもって取り組める教材や活動を工夫しました。 ▶ 【学びを深める問い??】で学び合いを焦点化し、対話的な学びをとおして見方・考え方を深めていけるようにしました。 	<p>p.123～125等</p> <p>p.122等</p> <p>p.124等</p>
基礎的・基本的な知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 毎時の知識・技能まとめに【まとめアニメーション】を設け、文字だけでなく視覚的にも理解が深められるようにしました。また、巻末の【学びのマッピング】では、下学年の内容も【まとめアニメーション】で振り返ることができるようにしました。 ▶ 各種学力調査で課題がみられる内容には【考えるヒント】を設け、つまづきやすいポイントを意識化しました。 	<p>p.75等</p> <p>p.277等</p> <p>p.21等</p>
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 単元の前半で見いだした数学的な見方・考え方を【つながるミカタ】で顕在化し、後半の学習で自ら活用していけるようにしました。さらに、【つながるミカタプラス】では、見方・考え方を領域を超えてつなぎ、算数のコツをつかめるようにしました。 ▶ 単元末【学んだことを使おう】及び学年末【算数を使って考えよう】では、学習したことを活用し、日常の事象を数理的にとらえて問題発見・解決する数学的活動を扱い、「何ができるようになったか」を実感できるようにしました。 	<p>p.199等</p> <p>p.184等</p> <p>p.166等</p> <p>p.206～209</p>
学びに向かう力、人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 問題発見力・問題解決力・問題追究力の3つの力に焦点をあてたモデル単元をそれぞれ設定し、よりよい未来を切り拓くための資質・能力の育成を旨としました。 ▶ 新学年の始めに、【授業開き教材】を用意し、問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ態度を学級で共有できるようにしました。 	<p>p.11～13</p> <p>p.26～27</p> <p>p.42～43</p> <p>p.7～9</p>
ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 無償で使えるデジタルコンテンツ【まなびリンク】では、まとめアニメーションや作図手順の動画、試行錯誤的な操作が可能なシミュレーションを豊富に設けました。 ▶ 表計算ソフトを活用してデータをいろいろなグラフに表す活動を扱い、情報活用能力を育成するようにしました。 	 <p>p.270</p>
体験的活動の重視	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 計算のしかたを考え説明したり、図形の性質を見いだしたりする場面などでは、具体的な体験によって学ぶ活動（ハンズオン）を重視しました。 	p.182～183等
言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 【算数で使いたい見方・考え方】では、子どもの言葉で数学的な見方・考え方を表現し、それらの言葉を使って学び合えるようにしました。 	p.4～6
学年間の系統性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 単元導入などでは、既習事項との関連を図りながら学習内容を広げていけるようにしました。 ▶ 巻末【学びのマッピング】には既習事項の一覧を掲載し、関連する内容を適宜確認できるようにしました。 	<p>p.24等</p> <p>p.276～287</p>

観 点	内容の特色	該当箇所
他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 少子高齢化社会に関する題材を取り上げるなど、教科横断的に取り組める教材を設けました。 ▶ 道徳科との関連を図り、友だちのノートのよいところを見つける活動を設け、お互いのよさを認め合う心を育てるようにしました。 	p.98～99等 p.28～29等
現代的な諸課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 点字のしくみや拡大教科書の文字に関する話題を取り上げるなど、多様性についての理解が深められるようにしました。 ▶ AIなどの最先端の科学技術を紹介し、算数の有用性を感じられるようにするとともに、将来の職業を考えるきっかけとなるようにしました。 	p.244、268等 表3等
個に応じた学習、少人数指導	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 巻末の練習問題【ステップアップ算数】は、「きほんの問題」と「ジャンプ問題」に分けて、習熟度に応じて練習問題の量を調整できるようにしました。 	p.247～260
教科担任制	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高学年は【上下合冊】にして、既習事項と関連づける系統的な指導をしやすいようにしました。 ▶ 巻末【Let's Try】や【広がる算数】では、興味・関心を刺激する探究的な教材を掲載し、より深く算数のおもしろさを味わう授業ができるようにしました。 	全般 p.232～245 p.266～269
特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 専門家の監修のもと、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。 ▶ ロービジョン（弱視）やディスレクシア（読み書き障がい）に配慮した「UDデジタル教科書体」を採用しました。 ▶ 読みやすい改行や、余白を生かしたレイアウトなど、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮しました。また、デジタル教科書や拡大教科書を用意し、多様なニーズに対応できるようにします。 	全般 全般 全般
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 文章は平易で簡潔、かつ理解しやすいように配慮しました。 ▶ 教材選定や場面の表現では、言葉遣いや服の色など、固定的なイメージで性の区別をしないようにするなど、多様性や人権について十分に配慮しました。 	全般 全般
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 系統性や習熟期間などを考慮し、最適な学習効果が得られる単元配列を工夫しました。 ▶ 基礎・基本の内容と、選択的な内容を分け、標準時数の中で無理なく習得することができるようにするとともに、単元の学習や家庭学習において、定着のために十分な分量の問題を用意しました。 	全般 全般
印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 紙の強度を維持しつつ、軽量の紙を使用することで児童の身体的な負担に配慮しました。 ▶ 環境やアレルギーなどに配慮し、再生紙と植物油インキを使用しました。また、表紙には抗菌加工をしました。 	全般 全般
創意・工夫	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「学びやすさ」の観点から、算数の学び方を身につけられるように工夫しました。また、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の両面で、デジタルコンテンツを有効に活用して理解を深められるようにしました。 ▶ 「授業のしやすさ」の観点から、問題解決型の授業の流れに沿った学習展開で構成するとともに、指導内容や見方・考え方の系統性がわかりやすくなるように工夫しました。また、主体的な学びのきっかけをつくる導入活動や、ねらいにせまる発問、対話的な学びを促す発問などがわかりやすくなるように工夫しました。 ▶ 「学力向上」の観点から、習熟の機会を豊富に設けるとともに、各種学力調査等で課題がみられる基礎・基本の問題を意図的に取り上げ、丁寧な支援ができるように工夫しました。また、全国学力・学習状況調査をふまえ、読解力・表現力等を育成する問題を扱いました。 ▶ 「算数好きを増やす」観点から、自ら考えたり、友だちと学んだりする楽しさを味わえるように工夫しました。また、子どもたちの興味・関心を高める教材を豊富に用意しました。 	全般 全般 全般 全般

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
★ 不思議なパスカルの三角形	指3 (2) (3) (4) (5)	p.7~9	2
1 文字を使った式	A(2) ア(ア) イ(ア)	p.11~21	6
2 分数と整数のかけ算、わり算	A(1) ア(ア) イ(ウ) イ(ア)	p.24~36	7
3 対称な図形	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.38~53	11
■ 対称なデザイン	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.54	1
4 分数のかけ算	A(1) ア(ア) イ(ウ) イ(ア) 内(1) (2)	p.56~69	11
5 分数のわり算	A(1) ア(ア) イ(ウ) イ(ア) 内(1) (2)	p.70~84	12
■ 切り紙遊び	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.85	1
6 データの見方	D(1) ア(ア) イ(ウ) イ(ア)	p.88~105	11
7 円の面積	B(3) ア(ア) イ(ア) 内(3)	p.107~119	9
■ ピザの面積を比べよう	B(3) ア(ア) イ(ア) 内(3)	p.120~121	2
8 比例と反比例	C(1) ア(ア) イ(ウ) イ(ア)	p.122~144	13
9 角柱と円柱の体積	B(4) ア(ア) イ(ア)	p.146~151、 153~154	5
10 比	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.156~168	9
11 拡大図と縮図	B(1) ア(ア) イ(ア)	p.170~186	11
★ およその面積と体積	B(2) ア(ア) イ(ア)	p.187~189	2
■ 地上絵をかこう	B(1) ア(ア) イ(ア)	p.190~191	2
12 並べ方と組み合わせ	D(2) ア(ア) イ(ア)	p.194~205	8
★ 算数を使って考えよう	D(1) ア(ア) イ(ア) 指2 (1) B(3) ア(ア) イ(ア) C(1) ア(イ) (ウ) イ(ア) 指2 (1)	p.206~207 p.208~209	2
◎ 6年のまとめ	指1 (2)	p.210~213	2
◎ 算数のまとめ	指1 (2)	p.216~231	10
■ Let's Try	指3 (2)	p.237~242、 244~245	7
※内：内容の取扱い ※指：第3 指導計画の作成と内容の取扱い			(予備時数 31時間) 計 144

教科書の構成

みんなが算数をはじめよう！

- ・ 不思議なパスカルの三角形 (授業開き教材)
- ・ まなびリンクを使って学ぼう
- ・ 算数で使いたい見方・考え方

単元

「きっかけ」の活動

毎時の学習
問題
発表・話し合い
ステップ

学んだことを使おう (単元末活用)

まとめ
・ たしかめよう (技能)
・ ふり返ろう (知識)
・ 4コマ漫画 (見方・考え方)

はてな? ? ? ! だったら! ?

自分を取り組むページ

- ・ 広がる算数
- ・ ステップアップ算数 (家庭学習)

もっと楽しもう！

算数をふり返ろう！

学年のまとめ

算数を使って考えよう (学年末活用)

算数ワールド (特設教材)

復習

教科書に出てきた言葉
・ 学びのマップ (既習内容のまとめ)
・ 学びの手引き (図のかき方等)
・ 表計算ソフトに挑戦
・ 広がる算数
・ ステップアップ算数 (家庭学習)

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-141	小学校	算数	算数	第6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	算数 618	小学算数 6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
115	葉4	1	B(3)ア(ア) 円の面積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、おうぎ形を円の一部とみて面積を求める活動を通して、円の面積についての理解を深める。	0.25
141	反比例のグラフ	1	C(1)ア(ウ) 反比例の関係について知ること。 上記に関連して、反比例のグラフがなめらかな曲線になることを知ること、比例と反比例のグラフの特徴の違いについて理解を深める。	0.5
151	面を動かしてできる立体	1	B(4)ア(ア) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、角柱、円柱について、面を垂直方向に動かしてできる立体という見方ができることを知る。	0.25
152	円柱と角柱を比べよう！	1	B(4)ア(ア) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、立体の表面積の求め方を考える活動を通して、角柱及び円柱についての理解を深める。	1
153	算数ひろば	1	B(4)ア(ア) 基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解すること。 上記に関連して、立体の周りの面積のことを「表面積」ということを知る。	0.25
169	うさぎとかめ	1	C(1)ア(イ) 比例の関係をういた問題解決の方法について知ること。 上記に関連して、時間と進んだ道のりの関係を表したグラフをよみ取ることを通して、速さや比例について理解を深め、数量関係をグラフに表すよさにふれる。	1
232	0より小さい数	1	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、0より小さい数の意味や表し方について知り、整数についての見方を広げる。	1
233	方眼にかいた正方形	1	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、方眼にかいた正方形の1辺の長さを求める活動から、無理数の存在に気づかせ、数についての見方を広げる。	1
234	直角三角形のひみつ	1	目標 (2) (前略)、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、辺の長さが3cm、4cm、5cmの直角三角形の各辺を1辺とする正方形の面積について調べる活動から、直角三角形の性質に気づかせ、図形についての見方を広げる。	1
235	平方と立方	1	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、正方形の面積や立方体の体積を求める乗法の式から、平方、立方の意味や指数を用いた数の表し方を知る。	1
236	さいころの目の出やすさ	1	D(2)ア(ア) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を 知ること。 上記に関連して、2つのさいころの目の出方を表を使って調べる活動を通して、事柄の起こりやすさを表すことについて見方を広げる。	1
243	国でちがう数の表し方	2	目標 (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、(中略)などを養う。 上記に関連して、日本語と英語の数の表し方を比べ、数の構成とその表し方について理解を深める。	1
269	安全なパスワードを考えよう！	1	D(2)ア(ア) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの使い方を 知ること。 上記に関連して、実社会で用いられるパスワードや暗証番号の安全性を考えると、起こり得る場合を整理する考え方が活用できることを知る。	1
合 計				10.25

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容